

北広島町まちづくり拠点整備基本計画

平成 30 年 1 月

北広島町まちづくり拠点整備検討委員会

目 次

1. 計画の目的

3. 整備目標

3. 整備方針と基本機能

4. 建設計画地の考え方

(参考資料)

- 北広島町まちづくり拠点整備検討委員会設置要綱
- 北広島町まちづくり拠点整備検討委員会委員名簿
- 北広島町まちづくり拠点整備基本計画の策定について（諮問）
- 北広島町まちづくり拠点整備検討委員会（第1回～第4回）意見要旨
- ワークショップによる意見
- 北広島町まちづくり拠点整備基本計画（案）に対する意見と考え方

1. 計画の目的

北広島町では、平成 29 年 2 月に策定した「第 2 次北広島町長期総合計画」において、めざすまちの将来像を「新たな感動・活力を創る 北広島 ～人のチカラがあふれるまち～」として掲げた。この計画に関連する施策として、「生涯学習の推進と、学びをまちづくりに活かす活動の推進」「コミュニティ施設の整備・充実と有効活用」を掲げ、「生涯学習・ひとづくり・まちづくり拠点整備事業」を具体的な事業として取り組むこととしている。

また、「山県東部新町建設計画（平成 16 年 3 月策定）」、「北広島町都市計画マスタープラン（平成 27 年 2 月策定）」、「北広島町総合戦略（平成 27 年 10 月策定）」及び「北広島町公共施設等総合管理計画（平成 28 年 3 月策定）」においても、拠点整備を掲げている。

本計画は、生涯学習・交流の成果を住民と行政との協働（自らの果たすべき役割を自覚して、お互いを理解し、信頼するとともに、共通する目的に対し対等の立場で協力し合い、補完し合うこと）による地域づくり・まちづくり活動につなげる「北広島町まちづくり拠点施設（以下「まちづくり拠点施設」という。）」の整備計画の基本的な事項等を明らかにすることを目的とする。

また、前述した上位計画に基づくとともに、現在の社会情勢の変化を加味した上で、より具体的な整備に関する基本計画として策定する。

■上位計画との関連性

計画名	位置付け
第 2 次北広島町 長期総合計画	<ul style="list-style-type: none"> ●施策分野Ⅱ 誰もが愛着を持って暮らせるまち 3 夢と希望、豊かな学び合いにあふれたまちづくり ●今後の方向性 生涯を通じた学習・スポーツの振興 ●施策の展開 生涯学習の推進と、学びをまちづくりに活かす活動の推進 ●主な事業 生涯学習・ひとづくり・まちづくりの拠点整備事業
	<ul style="list-style-type: none"> ●施策分野Ⅴ 住民と行政が一体となって未来を創造するまち 1 町民の視点に立った協働のまちづくり ●今後の方向性 町民と行政による協働のまちづくり ●施策の展開 コミュニティ施設の整備・充実と有効活用 ●主な事業 生涯学習・ひとづくり・まちづくりの拠点整備事業

計画名	位置付け
北広島町 総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> ●基本目標 4 地域資源を生かした活力あふれる暮らしの創出 ●方向 3 ひとが集う生活拠点の充実と支援の強化 ●施策内容 福祉や生活の拠点を整備します ●主な取組・事業 役場本庁周辺整備検討
北広島町都市計画 マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> ●土地利用の方針 北広島町役場本庁舎周辺については、高度な都市機能の集積を図り、利便性の高い中心拠点としての都市基盤を構築します。
北広島町 公共施設等 総合管理計画	<ul style="list-style-type: none"> ●集会施設（公民館） 適切に維持管理し、長寿命化を図りますが、耐震性の無いものや長寿命化の費用対効果が薄いと思われるものは、今後の人口推移を考慮しながら、必要な機能、規模、他の施設への機能移転について検討します。
山県東部 新町建設計画	<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針 魅力づくり 多彩な地域資源と機能・空間が輝く魅力づくり つながりづくり 多様な交流と連携をはぐくむつながりづくり 元気づくり 現在を支え明日を担う元気づくり ●主要事業 文化交流拠点施設整備事業（ふれあいセンターの整備）



現在の千代田中央公民館（昭和 46 年建設）

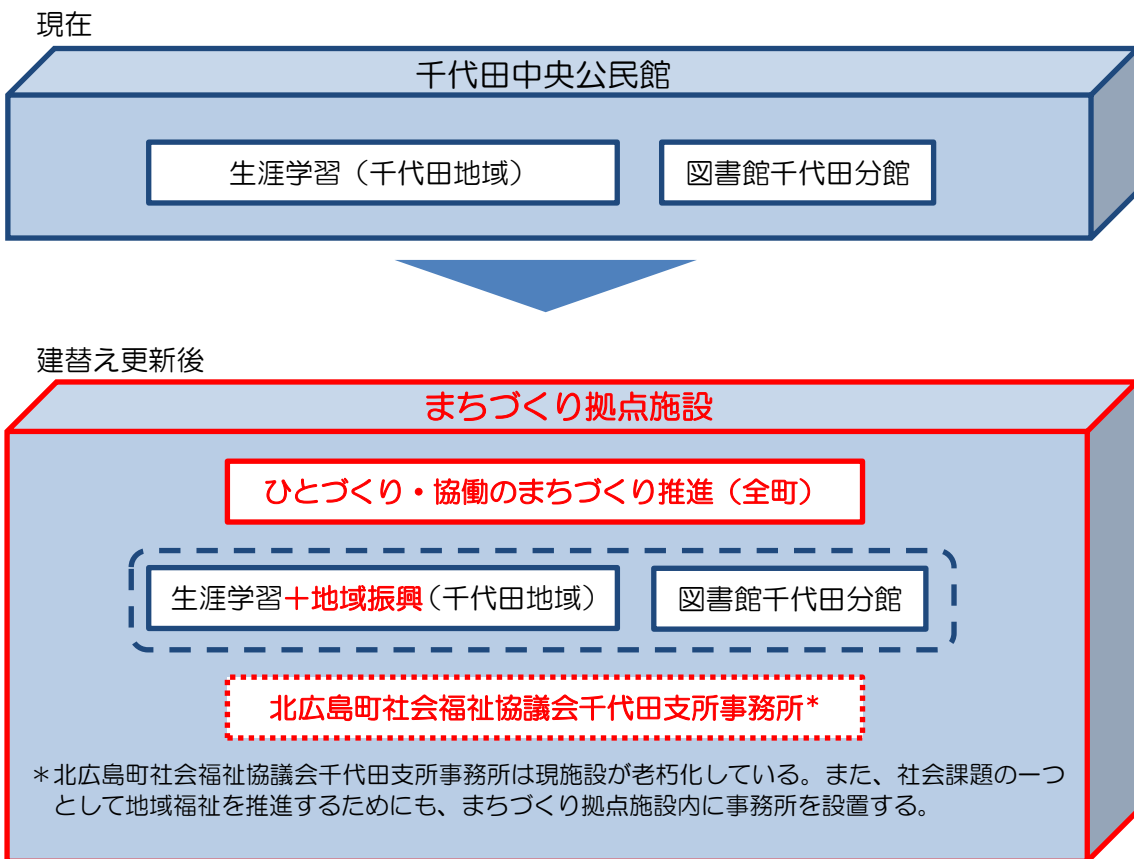
2. 整備目標

まちづくり拠点施設は、北広島町における「ひとづくり」「協働のまちづくり」の拠点として、千代田地域における生涯学習及び地域振興の機能を兼ね備えつつ、多くの住民が学び、交流し、その成果を住民と住民、住民と行政との協働によるまちづくりの取組につなげることを目標として、老朽化した千代田中央公民館を建替え更新して整備する。

■施設コンセプト

～ 集い 学び合い 共にまちを創り 使い 楽しむ拠点 ～

■まちづくり拠点施設のイメージ



【住民】

町内に在住、在勤又は在学する個人と町内で活動する法人その他の団体をいう。

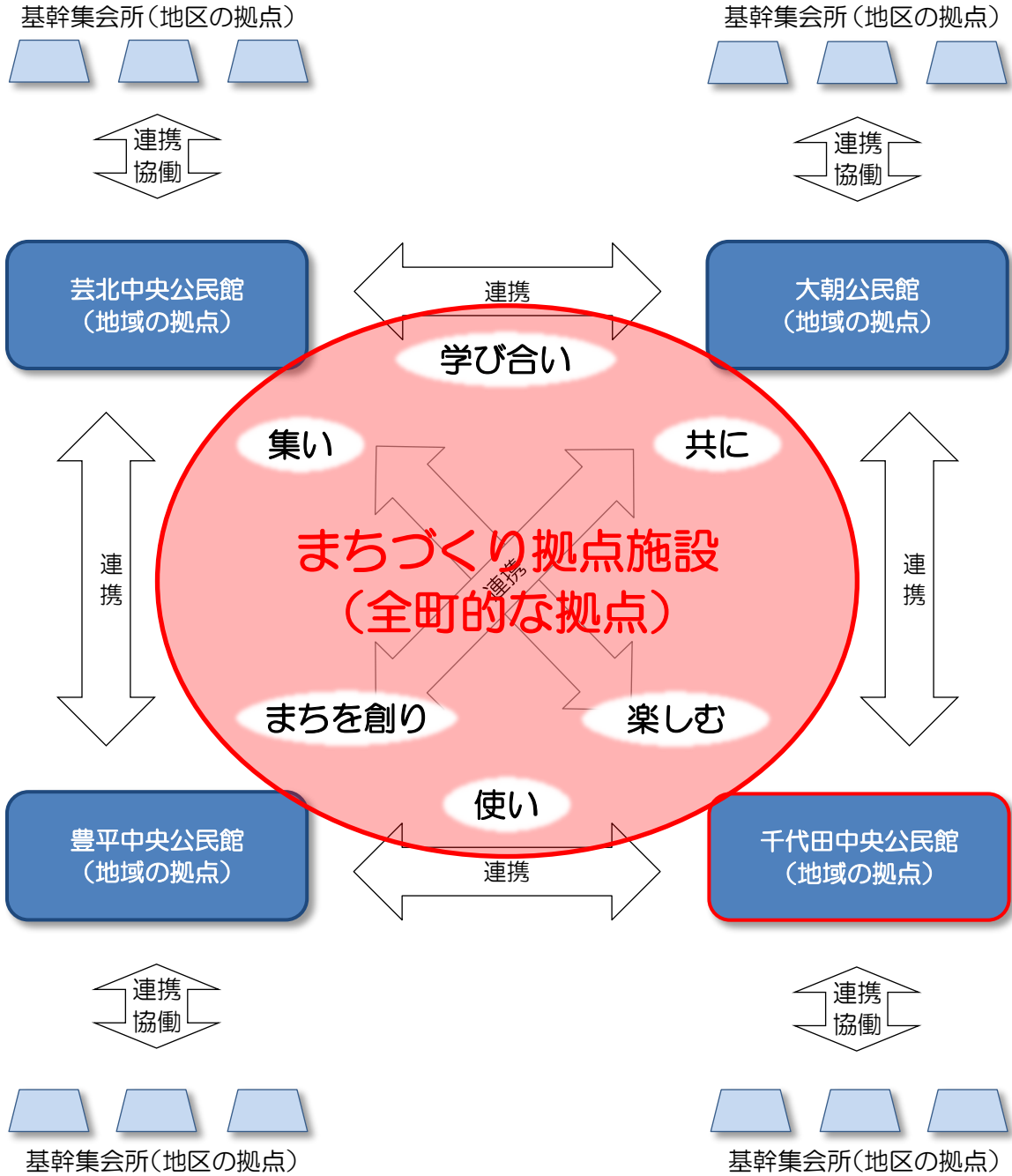
【ひとづくり】

自己成長の支援、地域・社会課題の解決に向けて取組む人材の育成をいう。

【協働のまちづくり】

住民と住民、住民と行政との協働による地域・社会課題の解決に向けたまちづくりの振興をいう。

■地区・地域の拠点施設とまちづくり拠点施設との関係性



【基幹集会所】

各地区の振興会に委託（指定管理）している施設をいう。

3. 整備方針と基本機能

まちづくり拠点の整備目標を具体化するため、次の4つの整備方針とこれに関わる基本機能を設定する。

整備方針1 誰もが気軽に自由に集い交わる場
<p>目的を持った人、持たない人、誰でも気軽に自由に集うことができ、様々な人々との出会いの場となり、施設内で行われる多様な学習・活動などの情報に触れることにより、学習・活動を始めるきっかけとなる場とする。また、施設内に限らず、施設外の周辺施設・空間と一体的な活動ができる場とする。さらには、災害時には避難場所として対応できる場とする。</p>
基本機能
<p>■交流空間機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合案内や休憩・談話ができるコーナー、キッズスペース、全町的な学習・活動の情報受発信など、多様な活用ができるロビーを整備し、住民が気軽に集い、交流できる空間を形成する。
<p>■防災機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時は避難所となるように諸室を工夫し、防災用品備蓄庫を整備する。

整備方針2 生涯にわたって様々な学習の機会が得られる場
<p>生きる力、総合的な力を身に付けられるよう、そのライフステージに応じた学習の機会が得られるなど、自己成長の支援を享受することができ、また、その成果を生活や活動などに生かすことができる場とする。</p>
基本機能
<p>■生涯学習機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習業務を行う部署の事務室を整備し、町全体の生涯学習の推進、地域の生涯学習拠点である各中央公民館の運営調整、地区の地域振興拠点である基幹集会所でのサークル活動支援などを行う。 多目的ホールや会議室、実習室などを整備し、町全体に関わる生涯学習のシンポジウムや講座、教室、千代田地域における住民の自主的な学習・活動の場を提供する。 図書館千代田分館を整備し、自主学習の場を提供する。

整備方針3 交流ネットワークが形成できる場

住民の自主的な学習・活動が尊重され、さらに、住民と住民との交流によって、その学習・活動の幅を広げることができるなど、交流ネットワークが形成できる場とする。

基本機能

■交流促進機能

- ・学習・活動の様子が見え、自発的な参加を促せるよう会議室を工夫して整備し、住民と住民の交流を促進する。(諸室は生涯学習機能と兼用)
- ・多目的ホールや会議室を整備し、様々な学習・活動の成果を発表・展示する場を提供し、交流を促進する。(諸室は生涯学習機能と兼用)

整備方針4 まちづくりが実現できる場

住民による地域・社会課題の解決や地域活性化に向けた地域づくり・まちづくりに関する活動に対して、行政から様々な情報や支援などを享受することができ、協働によるまちづくりが実現できる場とする。

基本機能

■協働のまちづくり機能

- ・地域振興業務を行う部署の事務室を整備し、町全体の地域振興・協働のまちづくりの推進、地域の地域振興拠点である各中央公民館の運営調整、各地域づくり協議会の活動支援、地区の地域振興拠点である基幹集会所での活動支援などを行う。(諸室は生涯学習機能と兼用)
- ・多目的ホールや会議室を整備し、町全体に関わる地域課題の解決や社会課題の解決に向けた講座や教室、千代田地域における地域づくり活動の場を提供する。(諸室は生涯学習機能と兼用)

4. 建設計画地の考え方

現在の千代田中央公民館は、東側に町道河本中出線、西側に北広島町役場本庁来客者駐車場、南側に北広島町役場本庁舎、北側に主要地方道浜田八重可部線で囲まれている。

現在地を建設計画地にする問題点は以下のとおりである。

- ①まちづくり拠点施設は、現在の千代田中央公民館よりも機能を増やし、高める必要があるため、少なくとも現施設の 1.5 倍程度以上の施設規模が必要であり、余裕のある敷地面積が必要と考える。
- ②現在の千代田中央公民館の東側に隣接する町道河本中出線は、施設に接する部分が狭い幅員となっているため、将来的には道路拡幅が必要であり、その際、現在地の敷地面積はさらに狭くなる。
- ③ショッピングセンターとの連携により「ひとづくり」「協働のまちづくり」をより一層進めていきたいといった住民意見に対応していくためには、現在地では距離がある。



拡幅が必要な町道河本中出線

これらのことを総合的に踏まえて、まちづくり拠点施設の建設計画地は、以下の理由から、北広島町都市計画審議会に提案している「役場周辺地域のまちづくり構想（案）」（担当課：建設課）に基づき、地域交流ゾーン内とすることが望ましいと考える。

- ①敷地面積に余裕があり、全町的な機能を果たすこと、ならびに現在の千代田中央公民館が果たしている機能をさらに高め、充実していくことに対応できる。
- ②これから創られる、コアゾーン、商業施設ゾーン、行政施設ゾーン、医療施設ゾーンとの間で、人々の流れが生まれ、連携がより一層活発化していく。

なお、地域交流ゾーンとコアゾーンが一体感を醸成し、人々が集まりやすくなるよう、施設設計を工夫するものとする。

■地域交流ゾーン

面積	約 4,000 m ² * *コアゾーンとの境界は未定
用途地域等	第一種住居地域
建ぺい率	60%
容積率	200%
地権者	旧千代田町民プール跡地：民有地（2 者） 千代田グラウンド：町有地

■ 役場周辺地域のまちづくり構想（案）整備方針



<p>【商業施設ゾーン】 主要幹線道路である国道261号線沿線に商業施設の集積を図り、買い物や飲食などの利便性、ビジネス拠点として賑わいの創出を図る。</p>	<p>【コアゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の中心核＝町全体の中心核に位置付け、各ゾーンと連携することで多彩な活動・交流等を生み出す。 自分の家の庭のように憩える「町の庭」として、集い、語り、遊び、学びなどができる場を形成する。 	<p>【行政施設ゾーン】 北広島町の本庁としての役割を担うとともに、様々な町民サービスの提供を行う。</p>
	<p>【地域交流ゾーン】 「ひとづくり」の場、住みよい町を地域全体で育てていく「協働のまちづくり」を実践する場として活用する。</p>	<p>【医療施設ゾーン】 生活交通が整った地区で地域医療を支える。</p>